

【建事協・優秀卒業作品表彰制度】

第18回優秀卒業作品コンクール審査結果発表



審査委員長 高橋晶子

令和5年3月1日(水)13:30~  
建事協会議室(1階)

【審査委員】

高橋晶子・丸川眞太郎  
(山田暁・中村浩巳・石原節夫・花田則之・  
武田賢治・赤木定)

第18回優秀卒業作品表彰事業概要

- 主催 (一社)岡山県建築士事務所協会
- 作品提出 令和5年2月20日(月)
- 審査日 令和5年3月1日(水)
- 結果通知 令和5年3月10日(金)
- 応募作品数 5学校 13点
- 審査結果
  - ・会長賞 1点
  - ・大学の部 最優秀賞 1点 優秀賞 4点
  - ・専門学校部の部 最優秀賞 1点 優秀賞 2点
  - ・工業高校の部 最優秀賞 1点 優秀賞 3点
- 賞品  
応募者にはそれぞれ表彰状と記念の楯を贈り、  
讃えました。

第18回優秀卒業作品表彰 審査委員長 高橋晶子

令和4年度の優秀卒業作品審査委員会が3月1日に行われました。  
本制度は平成17年度に始まり今年で18回目を迎えます。昨年に続  
いて審査委員長を務め、岡山県内の2大学、1専門学校、2工業高校  
の皆さんの卒業作品、全13作に接しました。

卒業作品は、自らがテーマ(問い)を設定し、調査、計画を通じてひと  
つの筋道をつくりながら具体的な建築(答え・提案)にまとめます。こ  
の筋道の創造性と最終案の完成度を審査の評価ポイントとしました。

地域の顔となる公共空間、環境共生、地域再生、産業遺産、防災と暮らしなど、多岐にわたるテーマはそれぞれが今日的で共  
感を呼ぶものであり、各々異なる個性にあふれていました。最終案の完成度にばらつきはありましたが、テーマ設定とデザイン  
を含む総合評価では大きな差が見られず、最優秀作を選抜するのが大変でした。

最終的に最優秀賞は「大学の部」の「大地との対話 一炭鉱町宇部を支えた風景の記憶の継承」、「専門学校部の部」の「水辺に宿る」、「工業高校の部」の「ペ  
ットののために」としました。また会長賞は「大学の部」の「派生して創生 一国領川  
沿いに建つ多機能コミュニティ複合施設」に決定しました。

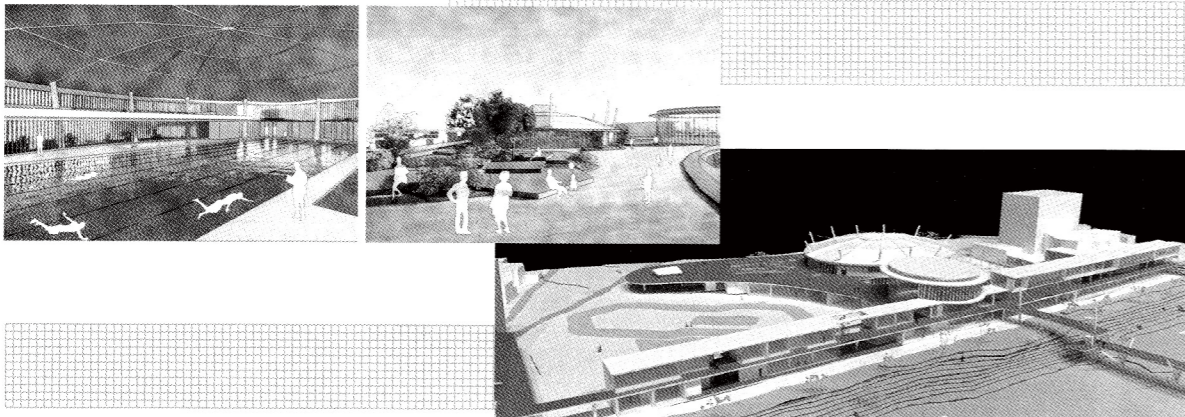
その他の応募作品はすべて優秀な提案として評価できることを確認し、優秀  
賞としました。



会長賞

作品名/ 派生して創生  
— 国領川沿いに建つ多機能コミュニティ複合施設 —

学校名/ 岡山理科大学 工学部 建築学科 製作者氏名/ 賀本 成美



愛媛県新居浜市に、日常的な利用を見込んだ、集約型の多機能コミュニティ複合施設を計画した作品  
です。  
川の流れの軸線をデザインの基本とし、個々の施設を建築的に手堅くまとめています。私ども、玄人  
好みの作品です。

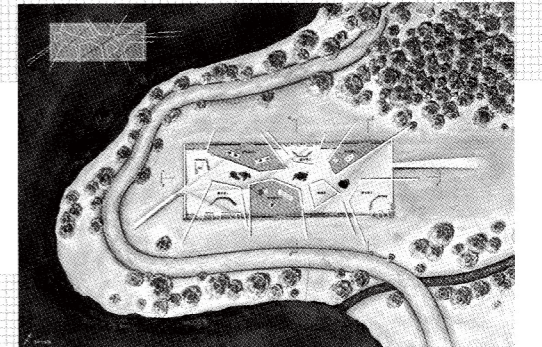
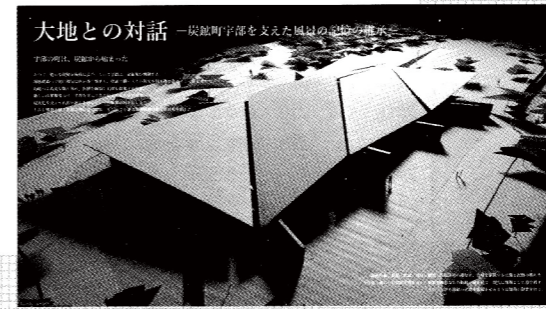
大学の部受賞作品



最優秀賞

作品名/ 大地との対話  
— 炭鉱町宇部を支えた風景の記憶の継承 —

学校名/ 岡山県立大学 デザイン学部 デザイン工学科 製作者氏名/ 地主 彩乃



審査委員長 COMMENT

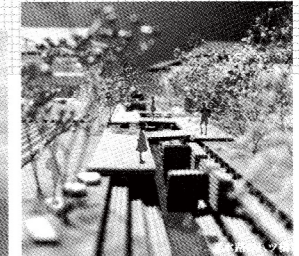
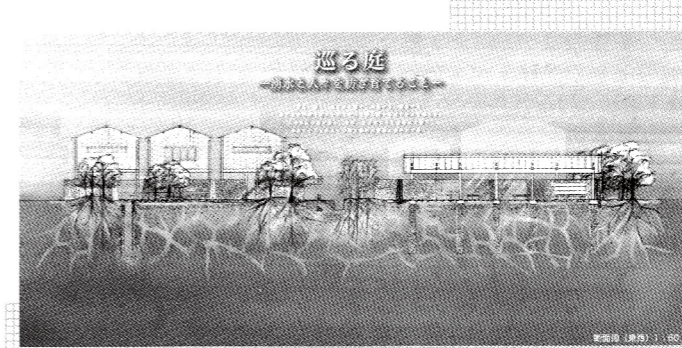
宇部炭鉱の資料館。屋根の亀裂線と折れた壁、2つのジオメトリがそれぞれ別個であることに若干違和  
感が残りましたが、スロープを下るアプローチ、微妙に傾斜した半地下の床、曲がりくねった通路など、建築  
空間そのものが炭鉱を疑似体験する「展示物」として表現されていることに共感しました。断面と内観のド  
ローイングがとても魅力的です。



優秀賞

作品名/ 巡る庭  
— 湧水と人々を紡ぎ育てること —

学校名/ 岡山県立大学 デザイン学部 デザイン工学科 製作者氏名/ 柴野 沙彩



優秀賞

作品名/ 街と暮らす塔の日常  
— 脱避難タワー、みんなから愛される津波避難施設の提案 —

学校名/ 岡山県立大学 デザイン学部 デザイン工学科 製作者氏名/ 山本 充

